

| | | | |
|-----|------------------|------|--------------------------|
| 科目名 | 人体構造機能学Ⅰ（筋・骨関節系） | 担当教員 | 鈴木大輔 ※印は実務経験のある教員を示す。 |
|-----|------------------|------|--------------------------|

| 開講専攻 | 分野 | 種別 | 配当年次 | 開講時期 | 単位数 | 授業形態 |
|------------------|--------|----|------|------|-----|------|
| 理学療法専攻 作業療法専攻 | 専門基礎科目 | 必修 | 1年次 | 前期 | 2単位 | 講義 |

| | |
|------|---|
| 科目概要 | 基本的な運動機能や日常生活活動の改善を図るリハビリテーション専門職として、人体の形態的特徴や構造（解剖）、及びその機能や仕組み（生理）を理解することは必須である。特に人体の筋・骨関節に関する構造や機能の知識は、身体運動の帰結を解明する思考過程において、人体の構造と機能を関連づける最も基本となる学問である。本科目では、身体各部の主要な骨、関節、骨格筋について、一般的な構造と機能を理解することを目的として学習する。 |
| 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 骨形態と関節・筋附着部の関連性を理解する 関節と運動の関連性を理解する 筋の起始・停止を覚え、筋の働きを理解する |

| 回 | 項目 | 主な学習内容 | 学習目標 | 実務経験 教員担当 項目 |
|---|------------|---|---|--------------------|
| 1 | 序論 | 細胞，組織，器官，器官系，ヒトの発生 人体区分，位置，方向用語，構成 | 人体を構成する〔細胞〕〔組織〕〔器官〕〔器官系〕の成り立ちを理解する 解剖学で使用する名称を覚える | |
| 2 | I：骨構造 | (1) 骨学総論：骨の発生と成長・骨の構造 (2) 頭蓋：頭蓋骨の構成Ⅰ | 骨の発生と成長・骨の構造を理解する 脳函を構成する骨の構成を理解する | |
| 3 | ” | (3) 頭蓋：頭蓋骨の構成Ⅱ (4) 脊柱：椎骨と肋骨 | 顔面を構成する骨の構成を理解する 脊柱を構成する椎骨の基本形・各椎骨の特徴・ 胸郭の構成を理解する | |
| 4 | ” | (5) 上肢帯・上肢を構成する骨 (6) 上肢帯・上肢を構成する骨 | 上肢帯骨，自由上肢骨の名称と関節構造を理解する 下肢帯骨，自由下肢骨の名称と関節構造を理解する | |
| 5 | Ⅱ：関節の構造と機能 | (1) 関節学総論：不動関節と可動関節，関節の可動性と運動方向 (2) 関節学各論：頭部・脊柱の関節 | 関節の一般的構造を把握する 関節の働きを理解する | |
| 6 | ” | (3) 関節学各論：上肢の関節Ⅰ (3) 関節学各論：上肢の関節Ⅱ | 関節の働きを理解する（上肢帯） 関節の働きを理解する（上肢） | |
| 7 | ” | (4) 関節学各論：下肢の関節Ⅰ (4) 関節学各論：下肢の関節Ⅱ | 関節の働きを理解する（下肢帯） 関節の働きを理解する（下肢） | |

| | | | | |
|-----------------------------|---------------------|---|--|--|
| 8 | III：筋構造 | (1) 筋学総論：構造，収縮機構，骨格筋の分類 (2) 筋学各論：頭部の筋 | 筋の一般的構造を把握する 筋の名称と働きを理解する（頭部） | |
| 9 | ” | (3) 筋学各論：体軸筋（固有背筋除く） (4) 筋学各論：体軸筋（固有背筋） | 筋の名称と働きを理解する（体軸筋） 筋の名称と働きを理解する（固有背筋） | |
| 10 | ” | (5) 筋学各論：上肢帯，上肢の筋 I (6) 筋学各論：上肢帯，上肢の筋 II | 筋の名称と働きを理解する（上肢帯） 筋の名称と働きを理解する（上肢） | |
| 11 | ” | (7) 筋学各論：下肢帯，下肢の筋 I (8) 筋学各論：下肢帯，下肢の筋 II | 筋の名称と働きを理解する（下肢帯） 筋の名称と働きを理解する（下肢） | |
| 12 | VII：骨・筋の機能 （生理）学 | (1) 骨生理 I：骨の機能と構造 (2) 骨生理 I：骨の形成（モデリング） | 骨の機能と構造を理解する 膜性骨化と軟骨性骨化の過程を理解する | |
| 13 | ” | (3) 骨生理 II：骨の改造（リモデリング） (4) 骨生理 II：骨代謝のホルモンによる調整 | 骨の改造の過程を理解する 骨代謝に関与するホルモンとその働き、骨の病 気について理解する | |
| 14 | ” | (5) 筋生理 I：筋の種類と構造 (6) 筋生理 I：筋収縮の過程 | 筋の種類や構造、収縮の動力源である ATP の 代謝過程を理解する 筋における興奮収縮連関を理解する | |
| 15 | ” | (7) 筋生理 II：筋収縮の種類 (8) 筋生理 II：筋収縮に影響する因子 | 筋の収縮様式を理解する 筋張力に影響を及ぼす因子を理解する | |
| 評価方法 | | 筆記試験(100%) | | |
| 教科図書 | | F.H.マティーン他：カラー人体解剖学 - 構造と機能：マイクロからマクロまで 西村書店 | | |
| 参考図書 | | なし。 | | |
| 学習の準備 | | 予習はしなくてもいいが，復習は必ず行って下さい | | |
| オフィスアワー | | 在室時 | | |
| 担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験 | | | | |